

新しい「ネットワーク生活」を見つけ出せ

CoDen Presents

インターネットライフスタイル・アワード ノミネート作品発表!!



最新

インターネット技術が もたらす ライフスタイル革命

第4回

「CoDen presents/インターネットライフスタイル・アワード」ノミネート作品を一挙紹介!

インターネット技術を使ってライフスタイルに革命を起こすアイデアを募集し、さらにそのアイデアを実際のビジネスにつなげていこうというコンセプト「CoDen presents/インターネットライフスタイル・アワード」の募集が締め切られた。実行委員会には「これぞ」というアイデアが多数寄せられ、現在審査委員会がグランプリ選出のため鋭意審査中だ。今回はグランプリ発表に先立ってどのような作品がアワードにノミネートされているかを紹介しよう。

インターネット生活研究所

この連載は、インターネットによって生活に新たな風を吹き込むことを目的としたシンクタンク「インターネット生活研究所」によって作られています。このシンクタンクの研究者は、インターネットを生活に活かしている一般の方を中心に構成され、誰でも参加可能。詳しい活動内容は [URL http://internet.impress.co.jp/iil](http://internet.impress.co.jp/iil)にて報告していく予定です。

“ コピキタス ”を作りだしライフスタイルを充実させるアイデアが多数集まる

主婦から定年退職者まで
幅広い層のアイデアが舞い込む

インターネットを使うことで、より充実したライフスタイルを生み出そう。この合い言葉をもとに始動した「CoDen presents/インターネットライフスタイル・アワード」広く一般から、インターネットを使って生活を便利に楽しくするアイデアを募集したところ、応募総数80件にもおよぶアイデアが寄せられた。意外にも応募者は大学生や主婦、自営業といった、職種・年齢ともに幅広い層に渡り、「インターネット」というインフラが、想像以上に広い層に浸透していることを思い知らされた。応募者のプロフィールが幅広いだけあって、送られてきたアイデアも、無線LANをもっと便利にするものや新たにネットワークデバイスを作ってしまうというもので多岐にわたっている。多岐にわたるとは言っても、送られてきた約80個のアイデアを並べてみると、おもしろい傾向が見えてくる。

“医療分野”と“モバイル環境”に
多くのアイデアが集まる

まず目立ったのは、医療サービスをインターネットで提供するというアイデアや、健康状態などをネットワークを使って管理しようといったアイデアだ。その数は総数で8件に上り、全体の約10パーセントを占めている。医療や健康管理といった分野に、ネットワークの力が必要だと考えている人がいかに多いかが、この結果からわかるだろう。また、モバイル環境でもネットワークにつながることで、生活を便利にしようといった傾向のアイデアも多かった。もちろん、携帯電話やPDAを使ってどこでもネットワークにアクセスするという技術はすでにあるのだが、ここで集められたアイデアは、ほぼすべてどこにいても常にネットワークにつながっている状況を前提としていた。つまり、家や会社などでの“つながりっぱなし”は当たり前、新たなビジネスなどのアイデアはどこにいても“つながりっぱなし”な状

況を提供してくれるインフラが必要だと考えている人が多いのだ。

こういう“どこでもつながっている”状況は「コピキタス」と表現されることが多いが、まさに今回集まったアイデアはコピキタス時代のビジネスプランと呼ばれるものが多かったと言えるだろう。

次に応募アイデアのなかからグランプリ候補にノミネートされた24作品を紹介しよう。今回のノミネートに関しては、まず「すでに類似の製品、サービスがなく斬新なアイデアであること」、次に「比較的実現できる可能性の高いアイデアであること」、また「アイデアを事業化するにあたって、それがビジネスとして成り立つかどうか」といった観点から集められたアイデアをピックアップしていった。

ここでは「ネットワーク文化工房」「ネットワークすぐやる課」「ネットワーク錬金術」という応募ジャンルごとに紹介していく。あなたなどのアイデアをグランプリに推すかを考えてもらいたい。

「ネットワーク文化工房」のノミネートアイデア

現存しない、まったく新しいコンセプトによるネットワーク製品やサービスを募集

順番は応募順

氏名	所属	タイトル	応募内容のダイジェスト
濱田篤重さん	地震予知ナマズ型ロボットネットワーク	超音波を観測できる小型のナマズ型ロボット(装置)を開発し、各家庭でネットに接続する。各ナマズロボットの位置情報と受信される超音波の強さを示すことができるソフトを開発し、それを使って地震に対する警戒や防災対策をとる。
石原靖雄さん	会社員	Schedule Layer	“自分を取り巻くすべてのグループのスケジュール情報の統合”を目指す「Schedule Layer」というアイデアを提示。「自分の所属する複数のグループのスケジュールを横断的に見ることができる」という機能で、組織の枠を超えたコラボレーションツールを作り出す。
村田清さん	会社員	お出個(おでこ)	街中において、自分自身の情報を発信し続けることで偶然すれ違っていた同郷の人、同窓の人、同じニッチな趣味を持つ人とその場でコミュニケーションができる「お出個(おでこ)」というアイデアを提案。技術的には無線タグの応用や携帯電話との連携を考えている。
霧山昭彦さん	オンラインショップ経営	info carry	ママ&主婦向け新モバイルネットワーク製品「info carry」を提案。低価格、小型の持ち歩きデバイスで、無線LANなどで料理レシピ、特売情報といったコンテンツを提供。また、このデバイスの情報を企業が収集するなどして、マーケティングツールとしても使える。
瀧 由里さん	教員、栄養士	ダイエットヘルパー	「ダイエットヘルパー」という名称で、個人のダイエットプログラムを正しく導いてくれるウェブサービスを開発。体のサイズ、1日の食事量・運動量・ライフスタイルなどを入力し、間違ったダイエットや思い込み、常識の嘘などの軌道修正を図ってくれるサイトを開く。
五十嵐啓人さん	大学生	Darling Traffic	ネットワーク上で直接的なコミュニケーションをとるのではなく、まず「Darling」と呼ばれる“エージェント”に話しかけ、この「Darling」が自分の代わりに相手とコミュニケーションをとってくれることで、円滑な人間関係を築く。メールや携帯などでも使用可能。

「ネットワークすぐやる課」のノミネットアイデア



< 既存の製品やサービスを組み合わせるだけで、今すぐできそうなことを募集 >

順番は応募順

氏名	所属	タイトル	応募内容のダイジェスト
田端志裕さん	大学生	複合モバイルサービス	用途によって携帯電話とパソコンのどちらにも装着できる「無線型機器」を開発して、セットで低額なサービスを提供する。今まで別々に利用していた製品同士を結びつけるサービスによって利用者の料金負担を軽減するアイデア。
池田佳司さん	会社員	FLASHコンテンツクリエイターのための著作権保護ASPサービス	FLASH で作成したコンテンツには、クリエイター自身が簡単に著作権保護をかけられる仕組みを提案。ASP で適正な価格で著作権保護と決済サービスを提供する。このようなクリエイターを育成する環境（インフラ）を作っていくのも社会的使命だと考える。
浅尾敏裕さん	教員	インターネット電話帳	個人名で検索可能なインターネット電話帳を作成。インターネットタウンページはあるが、検索できるのは店舗や企業のみで、個人名の電話帳がないので、このくらいすぐ作ってほしい。ただし、有料の番号案内 104 があるので、無料のサービスとして展開するのが理想的。
中村宏さん	教員	ベビーフォン	パウリングルの赤ちゃん版。泣いている赤ちゃんの泣き声を「言葉」に変換して表示。携帯電話のサービスの 1 つとして構築し、ネットワークを介してサーバー側で赤ちゃんの泣き声を解析して、ユーザーに知らせる仕組みをとる。
溪口れい子さん	主婦	携帯GPSを利用したネットワークゲーム	携帯電話のGPSを使った位置情報サービスを進化させて、特定のエリアにいる限られた人々で遊べるネットワークゲームを提案。電車を待っている間や、待ち合わせの短時間で遊ぶことができる。限られたエリアで限られた人たちだけが参加できるゲームをサービスとして提供する。
福井隆司さん	会社員	おじいちゃんおばあちゃんに携帯を！	携帯電話に万歩計機能を付けて携帯電話（移動型インターネット利用）の新たな需要創出を考えた。インターネットの使い方はもはやPCの前に座ってというスタイルだけではない。老若男女それぞれがそれぞれのスタイルで使えるコンテンツを考え出している。
喜多一三さん	バイヤー	ネット道案内サービス	インターネットおよびiモードなど携帯端末用の道案内サービス。画像などで地図を表示するのではなく、すべてテキストでの案内となる点が特徴。日本中の会社、店、個人などが各自で登録して、人口に膾炙するまでは利益は見込めない。
川口尚子さん	教員	ほっとステーション	健康に不安を感じてはいても、なかなか検診を受けられない人のためのサービス。各家庭に購入してある血圧計をネットワークにつないで、異常が見られた場合、メールや電話、テレビ電話などで健康相談をしたり受診の相談にのったりできるようにする。
村田清さん	会社員	ウェブツアーへの誘い～ブロードバンドに乗ってツアーにでかけよう	ブロードバンドを用いたウェブによるツアー旅行の企画。ブロードバンドの利点を活かし、個人旅行ではなく大勢の人数で行うツアー旅行の楽しさと、参加者同士のコミュニケーション、現地の人とのコミュニケーションを趣向を凝らして提供する。
黒木直文さん	……	披露宴ストリーミングライブ配信事業	遠方の友人にも披露宴にバーチャル参加できるようにシステム。ストリーミングライブ配信可能な動画サーバーを設けて専用サイトにてインターネット配信する。パソコンのほか携帯電話やPDAにも配信。リアルタイムでEメール電報がサイトに掲載されてもオモシロイと思う。
西田圭介さん	会社員	公衆PCと携帯電話(PDA)の共存環境ネットワーク	現状では、ネットワーク上にパソコンで見ると携帯と、携帯電話やPDAで見ると公衆PCが混在している。そこで、公衆PCを設置し、外出先でもパソコンで見たいコンテンツは公衆PCを利用して見るようにする仕組みを提案。
阪東嘉昭さん	会社社長	MyCoDen	カセットテープ、MD、CD、メモリスティックなど記録メディアが多すぎるこれらを「CoDen」に個人のバックアップ用としてアップロードすることで、著作権問題もクリアでき、しかも欲しいデータを「いつでも、どこでも」ダウンロードできる仕組みを提案。
細井好之さん	会社員	IP電話を利用したフリーダイヤル網の構築	IP電話は特定の回線間だけ無料。一般電話からIP電話に接続する場合などはお金がかかる。特にコールセンターでは通話料金のコストを下げることは急務。そこで既存のNTTのサービスとインターネット網を組み合わせIP網を利用した格安のフリーダイヤル接続網を構築し、提供する。

「ネットワークすぐやる課」のノミネートアイデア Part2

< 既存の製品やサービスを組み合わせるだけで、今すぐできそうなことを募集 >

氏名	所属	タイトル	応募内容のダイジェスト
沼本久さん	文筆業	探求オークション	現在のネットオークションは、買いたいものを探して入札するというスタイルが一般的。探求オークションでは、その逆のスタイルを取り、「1万円を手に入れたい」と公表する。それに対して、いちばん安い値段を提示した売り手と交渉成立という形のネットオークションをつくる。
山藤一雄さん	自営業者	分別生活お助けサイト	ゴミの分別収集が各地で行われているが、紛らわしいものをどう分別するかでストレスがたまる人もいる。そこで、このゴミはどう分別すればいいのかなどを教えるサイトを構築。バーコードなどで製品を検索すると、そのどの部分が燃えないゴミなのかなどがわかる。

「ネットワーク錬金術」のノミネートアイデア

< 既存のネットワーク環境で、ユーザーが考え出す価値ある利用法を募集 >

順番は応募順

氏名	所属	タイトル	応募内容のダイジェスト
表谷允央さん	会社員	レンタルホームサーバーサービス	ハードディスクレコーダーのようなホームサーバーを持っていない人のためのアウトソーシングサービス。いつでもどこでも情報端末からインターネットを介してレンタルホームサーバーにアクセスでき、そこには録画した番組などを溜め込んでおける。
丸山晃一郎さん	Poserを使った 絵画作成支援活動	3Dアニメーション作成ツール「Poser」。このPoserにはユーザーコミュニティがあり、多くのツールやサンプルなどが提供されている。それらをデータベース化し、使いたいクリエイターが即座にネットワークからツールなどをダウンロードできるようにする仕組みを開発する。
福田貞治さん	定年退職者	病院の予約取引所設置	病院は、インターネットで病院の設備、医師の経歴、手術成功率、空きベッド数、診療時間、概算治療費などを書き込む。病院の利用者はインターネットで閲覧または検索して、最適な病院を見つけ、質問もできるような仕組み。


現在、審査続行中！

現在、どのアイデアがグランプリに値するか、審査委員会の間で審議が続行中だ。審査委員会に大量に送られてきたアイデアを前に「これは絶対にノミネートしておいたほうがいい!」「このアイデアは“錬金術”ではなく、“すぐやる課”なので?」というような議論が繰り返されているぞ。

今回グランプリを決定する審査委員は、審査委員長に東大名誉教授の石田晴久先生を迎え、企画マンとして著名な久保田達也氏、奈良先端科学技術大学助教授の砂原秀樹氏、武蔵野美術大学教授の今泉洋氏。さらには、ニュース・ツー・ユー社長の神原弥奈子氏、「関心空間」を運営するユニークアイディ代表取締役 前田邦宏氏、マーケット・コンサルティングを行うウォータースタジオの取締役、坂井 光氏も参加。加えて、NTT

コミュニケーションズの白井義彦氏、本誌編集長中島由弘によって構成されている。

いずれ劣らぬインターネットに関するアイデアの持ち主。彼らの目にかなうグランプリはどのようなものなのか。結果発表を乞うご期待!



9月15日段階では、まだ審査委員による白熱した議論を繰り広げている。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp